



先月の大相撲大阪場所に際し、県営相撲場で稽古に励む田子ノ浦部屋(親方は新宮市出身の元久島海)の力士たち。大相撲の臨時部屋が設けられたのは県内で初めて。

知恵と工夫でグーンと 和歌山を押し出す

重点分野に配分したメリハリ予算

景気の先行きに少し明るさが戻り、税収も3年ぶりに伸びを見込めるようになりましたが、県歳入の3分の1を占める地方交付税が大幅に減少し、今まで以上に厳しい県財政の運営が求められています。

しかし一方で、今年の夏には待望の「高野・熊野」の世界遺産登録が実現しようとしています。これを本県の持つ自然・文化・歴史といったその奥深い魅力を国内外へ発信する絶好の機会ととらえ、地域振興につながる施策を積極的に展開していかなければなりません。

そのため、当初予算では全事業の徹底した見直しを行うことにより、こうした世界遺産関連の事業をはじめ地震対策・雇用対策・NPOとの協働など、県政の喫緊の課題や新たな行政需要に重点的に配分する予算編成を行いました。

知恵を絞り工夫を凝らし、和歌山の良さをさらに押し出す新予算がスタートします。

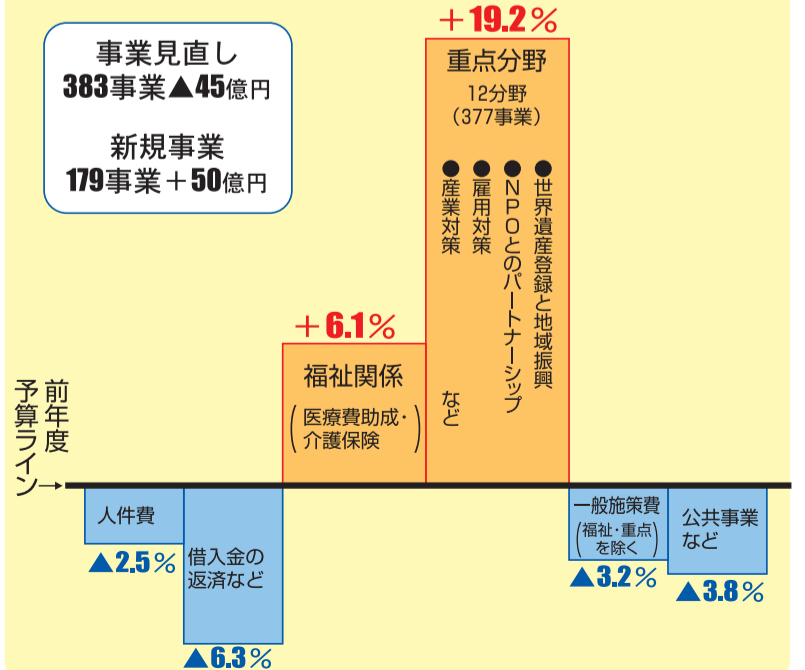
4～5面で新規・主要事業の概要を紹介しています。

平成16年度 当初予算(一般会計)

総額5,394億円(対前年▲162億円、▲2.9%)

前年度予算との比較

事業の見直しで経費を削減
県勢活性化を担う重点分野に集中配分



自然・生物



日本一大きい

一枚岩のコケ

古座川町の一枚岩に着生する最大のものは185cm×157cm、推定1300歳で、国内最大・最長寿のコケとされています。

世界一北にある

テーブルサンゴの群生地

串本沖は黒潮のおかげで、テーブルサンゴが群生する最北限となっています。



日本一遠い

富士山が見える場所

那智勝浦町の妙法山から、なんと富士山が見えることがあります。今のところ、日本で富士山が見える最遠の地(322.9km)です。

本州随一

アカウミガメの産卵地

南部町の千里の浜は、アカウミガメの産卵地として県の天然記念物にも指定され、町をあげて保護に力を入れています。



写真提供 後藤清さん(南部町)

へい~ホント?

すばらしい!

おかげさまで 魅力と歌山、 新発見!! できました

問い合わせ
県庁統計課
☎073-441-2387

県民の皆さんには「ふるさと和歌山」に自信と誇りを持ってもらい、全国の人々には本県への興味・関心を高めてもらうと実施した「魅力と歌山、新発見!!」事業。あまり知られていない自慢ネタや魅力・特徴を募集したところ、県内外から自然や歴史文化、産業、新名所など、いろいろな分野の情報を多数お寄せいただきました。(県ホームページで紹介中) その中から、ごく一部ですがご紹介しますので、皆さんも和歌山の魅力を新発見してみてください。

観光・遊ぶ

日本一多い

カヌーやカヤックを堪能できる川

カヌー専門誌で「紀州の七川(紀の川、有田川、日高川、富田川、日置川、古座川、熊野川)」として紹介されていて、本数日本一を誇ります。



日本一・日本有数 温泉王国

日本一大きな露天風呂「仙人風呂(本宮町)」、日本三古湯「白浜温泉」、日本三美人湯「龍神温泉」など多くの名湯があります。



世界唯一

エビとカニの水族館

すさみ町には、エビとカニだけを展示した水族館があり、世界最大や世界最重量のカニなどがいます。

日本一多い

パンダの飼育頭数

白浜町では昨年、双子の赤ちゃんが生まれ、6頭のパンダが飼育されています。



農林水産部

農業生産・就農局
「工」農業推進室
畜産課
果樹園芸課
就農促進課・就農支援センター

体験研修、技術習得研修、就農後のサポートなど総合的な支援を行います。



幅広い農業の担い手を支援する
農業生産・就農局を設置
農業の担い手が不足している中、就農を希望する方々に対する支援を総合的に進めるため、農林水産部に「農業生産・就農局」を設置するとともに、「就農促進課」を新設しました。さらに、御坊市に「就農支援センター」を開設し、就農相談や農業情報の提供をはじめ、

総務部

危機管理局
総合防災課
危機管理室
消防保安課

県民の生活・生命・財産に重大な影響を及ぼす災害や緊急事態が発生したとき、関係する部局を統括し、総合的に対応していくため、総務部に「危機管理局」を設置するとともに、「危機管理室」を新設しました。



総合的な防災・危機管理体制をつくる 危機管理局を設置

新年度、県として特に力を入れたい、あるいは緊急に対処しなければならぬ仕事を素早くきっちり進めるため、県の組織を見直しました。

4月1日から 県の組織を 一部変更しました

歴史・文化

鈴木

日本初 鈴木さん

日本で一番多い「鈴木」姓は、海南市の鈴木家がルーツです。

日本初 本州で鉄砲を製造

根来寺(岩出町)の津田監物算長は、種子島に鉄砲が伝来した翌年に持ち帰り、刀鍛冶の芝辻清右衛門に作らせています。



日本初 径山寺みそ・しょう油

興国寺(由良町)を開山した法燈国師が中国から径山寺みそを伝え、その製造過程でしょう油が誕生。ちなみに法燈国師は尺八も伝え、興国寺は虚無僧の本山として知られました。

日本初 カツオ節

江戸時代、印南の漁師が保存のため生節という加工法をみだし、これがカツオ節の原型となりました。また印南は、カツオの一本釣り発祥の地でもあります。

日本三大 那智の火祭り

熊野那智大社の神事で、扇まつりとも言われ、1300年の歴史を誇る勇壮な祭りです。

日本最古 熊野速玉大社の御船まつり

1,000年以上の歴史があり、全国各地の手こぎ競漕の中でも一番古いものとされています。



日本一高い

野球王国

高校野球連盟に加盟している37校中、21校に甲子園出場経験があり、その率はなんと56.8%にもなります。

日本唯一

有田川の鵜飼

有田川の鵜飼いは、鵜匠が鵜と一っしょに川に入る日本で唯一の徒歩漁法を行っており、約600年の歴史があります。



建造物・施設

日本一短い 紀州鉄道

御坊市にある紀州鉄道は、わずか2.7kmを8分で結びます。5つある駅の中の一つ、学問駅の切符は受験生のお守りとして有名です。



日本一大きい

花園村の大壁画

底辺100m、高さ55mの三角形です。

日本で2カ所

長保寺(下津町)と法隆寺

本堂、塔、大門がそろって国宝に指定されているのはこの2寺だけです。



日本一大きい

大斎原の鳥居

熊野本宮大社の旧社地である大斎原の鳥居は、高さが34m、幅が42mもあります。



つくる

日本一の生産高

- 海南市の「家庭用品(主に台所、風呂、トイレ等の水まわり商品)」
- 橋本市の「へら竿」は全国シェア90%
- かつらぎ町の「はし袋」は全国シェア40%
- 御坊市の「麻雀パイ」
- 「チェリモヤ」(右写真) マンゴスチン、パイナップルと並ぶ世界三大美果の一つです。
- 有田市の「太刀魚」は11年連続漁獲量日本一

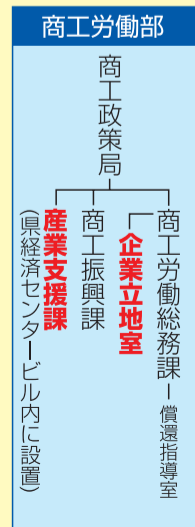


- 清水町の「山椒」
- 日高町の「黒竹」
和風建築にピッタリで、造園材や装飾材のほか、花立てなどの民芸品もあります。(右写真)
- 印南町などの「サヤエンドウ」
- 田辺やみなべの「梅干し」
梅干しが大きく貢献し、郵政公社が扱う「ふるさと小包」の販売個数(農産品部門)は全国第3位です。
- 北山村の「じゃばら」
北山村にしかないかんきつ類の一種で、ポン酢やワイン等に加工され、村の特産品となっています。



県経済の活性化を目指す 商工政策局を再編

県内企業の経営革新や新事業の創出を戦略的に進めるため、企業支援サービス部門を結集した「産業支援課」を設置するほか、企業誘致部門を強化するため「企業立地室」を設置しました。



うめ研究所を 南部川村に 開設

梅生育不良樹の発生原因の解明・対策や高品質な梅の安定生産等の技術の確立に取り組みます。



環境生活部に NPO協働推進課を設置

NPO法人等の活動を促進・支援し、連携することにより、さらに効果的・効率的な県民協働型の県政運営を目指します。

企画部に科学技術振興室を設置

県内産業の技術力強化と新技術・新産業の創出を目指します。

総務部に医科大学改革室、医科大学事務局に改革準備室をそれぞれ設置

地域に貢献する開かれた大学として県立医大の改革を進めます。また、看護短期大学の4年制に伴い、保健看護学部を設置しました。

問い合わせ 県庁人事課
☎073-441-2126

雇用対策

緊急雇用創出特別基金事業(合計42事業) 18億6,150万円

新たな就職先をみつけるまでのつなぎ雇用の機会を提供

若年者就職支援センター運営

(雇用推進課) 1,450万円

若者を取り巻く深刻な雇用情勢に対応するため、就職に関する様々な相談等を1ヵ所で行うことができるジョブカフェ・わかやまを運営

中小企業労働施策アドバイザー設置

(労働企画課) 318万円

各種労働施策の情報提供や助言を行うアドバイザーを中小企業に派遣し、企業の労務改善等を支援

就職活動パワーアップセミナー(雇用推進課) 846万円

高校生・若年未就業者を対象にして、就職活動のノウハウの指導やキャリアカウンセリングを実施し、就職活動に必要な能力の向上を支援



緑の雇用など

農業や漁業へも展開

合計33事業 21億8,549万円

緑の雇用環境林創造(森林整備課) 3億6,000万円

環境保全を重視する森林を「環境林」として整備するとともに、「緑の雇用」の担い手等に対し、より高度な技術研修を実施

山村ビジネス支援(定住促進課) 669万円

緑の雇用事業等によるUターン者の起業化、農林業複合経営及び短期雇用情報の提供事業などを支援

農業をやってみようプログラム推進

(就農促進課) 4,346万円

就農を希望する人の受入に積極的な地域をモデル地区に選定し、その主体的な取り組みを支援

青の振興和歌山モデル(5事業)(水産振興課) 1,682万円

漁場環境の維持・改善を推進するとともに、漁業における観光的な取り組みや水産物の販路開拓など、都市との交流を視野に入れた新たな展開を実施



ITわかやま

電子県庁推進(情報政策課) 6,570万円

時間や場所の制約を受けずに、インターネットを利用して県への各種申請・届出等を行える電子申請システムを構築

IT総合センター(仮称)整備

(情報政策課) 10億6,198万円

ITを活用した研修機能や、地域産業活性化のための産業支援機能等を有する「IT総合センター(仮称)」を整備(平成16年秋竣工)

全国マルチメディア祭2004開催(情報政策課) 2,300万円

地域情報化に関する全国規模のイベントを、IT総合センター(仮称)など県内4会場で開催

公的個人認証サービス推進(情報政策課) 2,473万円

インターネットを利用した申請・届出の際の確かな本人確認の手段となる「公的個人認証サービス」を実施



文化・教育・科学技術の振興

ほんまもんの舞台創造体験(文化国際課) 300万円

和歌山の先人である「紀伊国屋文左衛門」の偉業を題材とした舞台公演を開催

世界遺産登録記念特別展「空海と高野山」(文化遺産課) 6,000万円

高野山に伝来する仏教美術を結集した特別展を開催

さわやかクール教室整備(教総務課) 3億8,803万円

快適な学習環境を確保し、生徒の学力向上と夏期休業中の多様な取り組みを推進するため、県立高校普通教室へエアコンを導入

ナノ・ケミストリープロジェクト推進

(科学技術振興室、工業技術センター)

5,136万円

産学官連携により、ナノテクノロジーを活用して、電子部品をさらに高機能化させるための新たな有機材料を開発



平成16年度当初予算 新規事業・主要事業の概要

県土整備・まちづくり

府県間道路の整備(道路建設課) 33億7,000万円

大阪府をはじめ近畿圏との交流、連携を強化するための国道371号橋本バイパス・新橋本橋、国道480号平道路、県道泉佐野岩出線の整備促進

和歌山市内東西幹線道路の整備(道路建設課) 37億1,770万円

交通分散と渋滞緩和を促進するための湊神前線、西脇山口線、南港山東線の整備

地域高規格道路の整備(道路建設課) 25億円

紀伊半島縦貫軸を形成する五條新官道路(国道168号)の整備

高速道路の整備促進(道路政策課) 34億7,088万円

近畿自動車道紀勢線用地取得促進(海南～吉備間、南部～田辺間)、京奈和自動車道用地取得促進(高野口～打田間)

紀州中山間地道路整備

(道路政策課・道路建設課) 28億1,300万円

地域の实情に応じた基準・規格による1.5車線の道路整備

コスモパーク加太計画推進

(コスモパーク加太対策室) 22億6,107万円

特区制度を活用し、県土地開発公社所有のコスモパーク加太の一部を県が借り上げ、災害時の防災対策用地とするとともに、県民広場としての整備や企業を誘致



安全・安心の暮らし

食

食の安全検査強化(生活衛生課) 4,139万円

流通食品の安全を確保するため、残留農薬の検査体制を強化

食の安全トレーサビリティシステム*推進

(果樹園芸課) 1,347万円

県産農産物のトレーサビリティシステムの推進により、食の安全・安心体制を構築

畜産わかやまトレーサビリティシステム*導入モデル(畜産課) 1,258万円

牛肉に対する安心と信頼回復を確保するため、牛肉のトレーサビリティシステムを整備し、消費者に情報を提供

*生産から販売までの「いつ、誰が、どこで、どのように」といった情報をさかのぼって特定できるシステム



治安

警察官の増員(警察本部)

警察に対する県民ニーズの増大・多様化に対応し、生活の安全と平穏を確保するため、昨年度(30人)に引き続き25人を増員

きのくに安全・安心タウン

(警察本部) 1,322万円

県民に犯罪情報をわかりやすく提供

するとともに、防犯意識の高揚など犯罪に強い街づくりを支援

安全で安心な街づくり支援(警察本部) 1億345万円

和歌山駅・アロチ周辺及び田辺駅周辺地域において、民間警備員による犯罪防止のため警戒、違法駐車排除などのパトロール活動を実施



地震防災対策

合計33事業 20億3,319万円

東南海・南海地震対策

(総合防災課) 1億3,806万円

東南海・南海地震に備え、被害想定の見直しや、県民の防災意識啓発、防災実態調査を実施するとともに、市町村による防災対策の充実を支援

分庁舎(防災センター)整備

(管財課) 6,161万円

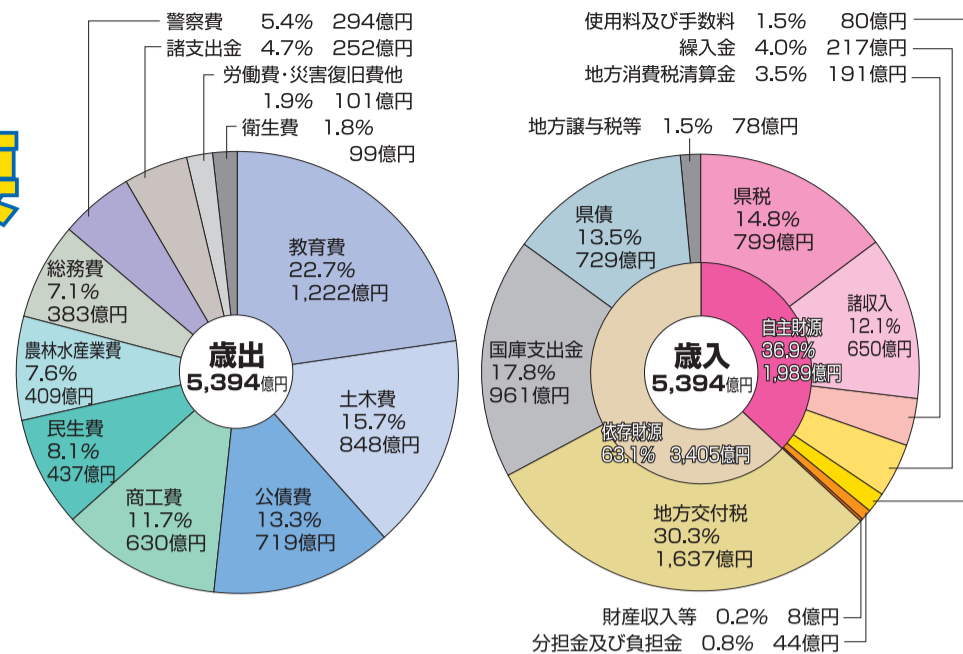
大規模災害発生時の応急・復旧対策の司令塔となる分庁舎(防災センター)を整備 総事業費約40億円(概算) 概ね12階建て 平成19年供用開始予定

きのくに木造住宅耐震化促進(都市政策課) 5,400万円

地震による木造住宅の倒壊を防止するため、昭和56年6月以前に建設された、いわゆる旧基準木造住宅の耐震診断と耐震改修を助成

被災者住宅再建支援基金出資(福祉保健総務課) 3億2,180万円

自然災害の被災後の居住安定確保を図るため「被災者住宅再建支援基金(300億円)」へ提出



産業対策

中小企業融資(産業支援課) 新規融資枠 996億円

中小企業の資金のニーズにきめ細かく対応するため「再生支援資金」「雇用創出対策資金」「ビジネス評価支援資金」を創設

あきんどインキュベータ(商工振興課) 859万円

小売業への新規参入者を育成するため、実践的な経営力取得のための研修施設を開設

わかやま産業イノベーション構想 経営革新や新事業創出等を戦略的に展開

企業プロデュース(産業支援課) 537万円

新たなビジネスモデルや「もうかる仕組み」をプロデュースする専門家チームが、企業の経営革新、第2創業、新製品開発、販路開拓等の企業戦略を構築

新事業展開やる気支援(産業支援課) 2,000万円

海外向け高付加価値商品、リサイクル製品及び世界遺産関連商品の開発によって新事業の展開を図る「やる気のある企業」を支援

県産品のブランド化・販路開拓

県産品ニューマーケティング(マーケティング企画課) 2,336万円

県産品の販路開拓を行うため、首都圏等において大手量販店の協力を得て、ソフトアンテナショップを運営

わかやまブランド支援(マーケティング推進課) 625万円

埋もれている優良県産品の発掘と県産品のブラッシュアップを促進し、ブランド化を支援

和歌山の果樹ブランド強化対策(果樹園芸課) 2,600万円

独自の優良品種を導入しブランド力を強化するとともに、高度な栽培方法の導入を推進

紀州材健康空間創造

(林業振興課) 7,500万円

紀州材のPRと需要拡大のため、教育関連施設等の公共施設の内装木質化に対し助成



NPO*とのパートナーシップ

*営利追求を目的としない、自主的・自発的に社会貢献活動を継続して行う民間の団体

合計40事業 1億1,118万円

NPOからのふるさとづくり企画提案募集(NPO協働推進課) 1,000万円

行政とNPOの相互理解と協働を進めるため、ふるさとづくりに対する企画提案を募り、選定された事業を委託

「社会的ひきこもり」者社会参加促進(健康対策課) 657万円

自宅に引きこもっている状態などが続く「社会的ひきこもり」者の自立と社会参加を促進するため、NPOと協働し、相談窓口の設置をはじめとした包括的な支援体制を整備

障害者就業支援(雇用推進課) 367万円

NPOと協働し、専門的及び直接的なアドバイスを行うジョブコーチを育成及び派遣することにより、障害のある方が就業しやすい環境を整備

青年よ!NPOからはじめよう

(青少年課) 82万円

NPO活動への体験・参加機会を提供し、目的意識を持ち活動する青年を育成するとともに、「次代の担い手、地域の担い手」を育成



世界遺産登録と地域振興

合計36事業 15億9,339万円

世界遺産推進(地域振興課) 3,855万円

三重県・奈良県と共同で、国際シンポジウム・展覧会などを通し「紀伊山地の霊場と参詣道」の魅力の情報発信するほか、公民協働による地域活動を支援

和歌山県大型観光キャンペーン(観光振興課) 1億1,000万円

登録を契機に、本県の魅力を全国に向け効果的に情報発信し、観光客を誘致(県・市町村、民間事業者、JRグループ一体の全国キャンペーンを今秋から実施)

国際観光推進(観光交流課) 2,613万円

台湾、韓国、香港、中国に積極的なプロモーションを実施するとともに、「欧米に対しても「高野・熊野」地域の情報発信を行い、誘客を促進

世界遺産関連観光施設等整備

(環境生活総務課、観光振興課) 1億4,320万円

高野・熊野地方の豊かで優れた自然を紹介するための案内板・解説板、道標、ノリアフリースレ、休憩所等を整備

古道周辺森林環境整備(森林整備課) 1億4,192万円

熊野古道等の周辺森林の景観保全や眺望復活のため、枝払い等の森林整備や広葉樹植栽等による修景整備を実施

高野・熊野ワールドヘリテージレンジャー(県立学校課) 413万円

世界遺産の価値を次世代に伝えていくために、高校生を現地学習ガイドとして育成するなど、地域の歴史文化教育を推進



地方からの提言(わかやまモデル)

幼保一元化モデル施設整備補助(子育て推進課) 1億1,441万円

民間による県内初の幼保一元化施設の整備を助成し、地域の子育て支援機能を果たす環境を整備するとともに、新しい子育て支援施設のあり方を提案

地域連携CLO融資実施(産業支援課) 254万円

中小企業者に無担保の長期・低利資金を供給するため、複数県連携型でCLO(ローン担保証券)融資を実施

紀州材・次世代を育む環境整備(林業振興課) 3,300万円

紀州材をキット化した学習机・イスを学校に整備する市町村に助成

急傾斜地擁壁避難路設置(砂防課) 2,000万円

津波発生時の避難路として活用するため、急傾斜地崩壊防止工事により設置した擁壁に昇降路を設置

日本の次世代リーダー養成塾(教総務課) 100万円

本県をはじめ7県が経済界及び学界有志とともに、全国の高校1・2年生を対象に、国際社会で通用する人材育成を目的に短期集中型合宿を開催

高校生防災ボランティア・防災教育推進(健康体育課) 455万円

災害ボランティアの活動等に積極的に参加する生徒を育成するため、全日制高校の生徒を対象に防災ボランティアスクール(高校生総合防災訓練)を実施

福祉・保健・環境対策

育児支援家庭訪問(子育て推進課) 356万円

育児不安を抱える家庭に保育士・保健師等を派遣し、助言・指導を行う市町村を支援

痴呆性高齢者相談啓発(長寿社会推進課) 358万円

痴呆性高齢者やその家族が安心して暮らせるよう、痴呆介護地域支援ネットワークを構築するとともに、啓発や相談事業を実施

チャレンジド製品販売等支援(障害福祉課) 1,337万円

障害者の自立・社会参加を促す授産施設等における製品の販売を促進するため、企業経営等の専門家を派遣するとともに、運転資金の融資制度を新たに創設

あんしん子育て救急整備(医務課) 2,322万円

安心して子どもを産み育てる地域づくりを推進するため、小児救急医療体制を整備

不妊治療対策(健康対策課) 973万円

不妊で悩んでいる方々のため、不妊専門相談窓口を開設するとともに、不妊治療費に対する助成を実施

温暖化対策に関するパートナーシップ推進(環境生活総務課) 450万円

NPO、企業、行政のパートナーシップを推進し、環境フォーラムを実施するとともに、地球温暖化防止の全県的な地域協議会の設立を目指す



時…期日・時間 費…費用
場…場所・会場 申…申込・応募方法
定…定員 問…問い合わせ
対…対象・資格 抽…希望者多数の場合抽選
※の機関・施設は県庁の敷地内にはありませんのでご注意ください

和歌山県のホームページは http://www.pref.wakayama.lg.jp/
県庁・県教育委員会への
郵便は 〒640-8585 (県庁専用郵便番号、住所記入不要) ○○○課あて
電話は ☎073-432-4111



各振興局代表電話 海草 県庁代表と同じ 那賀 0736-63-0100 伊都 0736-34-1700 有田 0737-63-4111 日高 0738-22-3111 西牟婁 0739-22-1200 東牟婁 0735-22-8551

募集

アサーティブトレーニング講座

より良い人間関係を築くため、自分も相手も大切にしながら自己表現する方法を学ぶ(2日間)
時 5月29日(土)、6月5日(土) 共に13:00~17:00
場 県男女共生社会推進センター りいぶる(和歌山市)
対・定 女性30人(先着順)
申 電話、FAX、Eメールで住所、氏名、年齢、電話番号を、5月25日(一時保育は5月18日)までにりいぶる「アサーティブ講座」係 ☎073-435-5245 FAX073-435-5247 Eメールe0315012@pref.wakayama.lg.jp
問 申込先

青年海外協力隊員等

【青年海外協力隊】

説明会 4月11日(日)14:30~及び5月12日(水)18:30~ 共に和歌山ビッグ愛(和歌山市)

青年海外協力隊員(2年間)

対 満20~39歳の日本国籍の方
派遣国 アジア、アフリカ、中南米、大洋州、中近東、東欧の68カ国
日系社会青年ボランティア(2年間)

対 満20~39歳の日本国籍の方
派遣国 アルゼンチンなど中南米各国の日系団体等

【シニア海外ボランティア(1~2年間)】

説明会 5月12日(水)14:30~ 和歌山ビッグ愛(和歌山市)

対 満40~69歳の日本国籍の方
派遣国 アジア、アフリカ、中南米、大洋州、中近東、東欧の54カ国

申 所定の用紙で4月10日~5月20日
問 県国際交流協会 ☎073-435-5240、国際協力機構JICA大阪 ☎072-641-6900

県男女共同参画審議会委員

男女共同参画を進めるため県条例に基づき設置している審議会、委員の業務は会議等への出席(年3回程度、和歌山市内で平日の昼間に開催予定)

対・定 県内に在住・在勤・在学の満20歳以上の方 2人(議員、公務員等は不可)

任期 2年(平成16年6月~予定)

申 所定の申込書に、「男女が安心して社会参画できる環境づくりのために」と題した小論文(1,600字程度)を添えて、4月30日までに県庁男女共生社会推進課
問 申込先

県観光キャンペーンスタッフ

5月1日から1年間、県内外でのイベント等で和歌山県の観光PRをしていただきます

対・定 県内に在住又は県出身の18歳以上(平成16年3月31日現在・高校生不可)の方で、協調性に富み、明朗で健康な方 6人 性別不問

申 履歴書を4月19日までに県観光連盟(県庁観光振興課内)へ郵送又は持参

面接審査 4月25日(日)・県民文化会館(和歌山市)

問 申込先☎073-422-4631

障害者・高齢者ホームヘルパー養成研修(3級課程)

時 講義=6月7~18日(但し、11~14日を除く) 実習=講義終了後1日間 全日程受講必要

場 シティプラザホテル(田辺市)
定 60人(抽)

費 11,000円(テキスト代等)

申 ハガキで住所、氏名(ふりがな)、生年月日、電話番号、及び7月末開催予定の2級課程受講希望の有無を、5月14日までに県地域介護普及センター〒646-0012田辺市神島台6-1
問 申込先☎0739-22-6589

全日本中学生水の作文コンクール

課題 水について考える(題名自由)。400字詰め原稿用紙4枚以内。本文の前に題名、学校名(ふりがな)・学年、氏名(ふりがな)を記入

対 中学生(同学齢の方を含む)

申 5月15日までに県庁地域振興課
問 申込先

きのくに木造住宅耐震診断等耐震診断士の派遣や耐震改修工事費用の一部補助を実施

対 昭和56年5月31日以前に建築された木造軸組工法の住宅等
申 当事業を実施する市町村役場
問 申込先、県庁都市政策課

健康講座「食と健康」~かかりつけ医があなたを守る~

食生活相談(要予約)と講演「生活習慣病」「勘違いによる食生活」「健康長寿への食生活」
時 4月22日(木) 10:00~17:00
場 和歌山ビッグ愛(和歌山市)
問 県庁健康対策課

最新の医療カンファランス(講演)

「脳卒中はどんな病気」
時 5月6日(木) 15:00~17:00
場 県立医科大学 生涯研修・地域医療センター(和歌山市)
定 100人(事前申込不要)
問 会場☎073-441-0789

水質検査受付日の変更

4月から、県立保健所(支所)での水質検査の受付が、毎月第1週と第3週の月曜日(祝日の場合翌日)の9:00~12:00に変わります。
問 各県立保健所(支所)、県庁食品安全企画課

「緑の雇用」森林作業員

県内の森林組合に所属して、間伐・下草刈り等を行う

問 わかやま林業労働力確保支援センター☎0739-83-2022 FAX0739-83-2565

喜の国いきいき健康長寿祭スポーツ交流大会

種目・時・場

グラウンドゴルフ

5月14日(金) 上富田町

卓球・弓道

5月28日(金) 和歌山市

ベタンク

6月2日(水) 和歌山市

テニス・ソフトテニス

6月11日(金) 和歌山市

種目によりダブルス・トリプルス等の別あり

対 県内在住の60歳以上の方(昭和20年4月1日以前に生まれた方)

申 ハガキ、封書、FAXで住所、氏名、性別、生年月日、電話番号、種目(チーム名)を、4月26日までに県社会福祉協議会いきいき長寿社会センター〒640-8319和歌山市手平2-1-2和歌山ビッグ愛7階 FAX073-435-5215

問 申込先☎073-435-5214

ホームヘルパー養成講習会(2級課程)

母子家庭の母、寡婦が対象です(和歌山市在住の方を除く)

時 6月下旬~11月下旬の原則土・日曜(一部平日あり)

場 かつらぎ町 川辺町

定 各20人程度

費 無料(テキスト代は自己負担)

申 往復ハガキで住所、氏名、生年月日、電話番号、子どもの人数・年齢、受講地の希望、申込動機を、4月30日までに県母子寡婦福祉連合会〒641-0021和歌山市和歌浦東3-6-46

問 申込先☎073-444-0376

語学教室(各講座全8回)

フランス語

5月11日~6月29日 毎週火曜日

・初めての方=13:30~14:45

・初級=18:30~19:45

初級英会話

5月12日~6月30日 毎週水曜日

18:30~19:45

スペイン語

5月6日~6月24日 毎週木曜日

・初めての方=13:30~14:45

・初級=18:30~19:45

初めての韓国語

5月7日~6月25日 毎週金曜日

18:30~19:45

中国語

5月8日~6月26日 毎週土曜日

初めての方=10:30~11:45

初級=18:30~19:45

場 県国際交流センター(和歌山市)

定 各講座20人(先着順)

費 5,000円(1講座)+県国際交流協会賛助会員登録料3,000円

申 ハガキ、FAXで希望講座名、住所、氏名(ふりがな)、電話番号を県国際交流協会〒640-8319和歌山市手平2-1-2和歌山ビッグ愛8階 FAX073-435-5243

問 申込先☎073-435-5240

ごあんない

リターンフェア

来春卒業予定の大学生等を対象とした、各企業の人事担当者との面談会 予約不要

時 4月19日(月) 12:00~16:00

場 ホテルグランヴィア和歌山(和歌山市)

問 実行委員会☎073-431-7376

「県立生石高原の家」の休所

4月1日から、宿泊施設、体育館、キャンプ場、炊事場等のすべての施設が利用できません。

問 県庁青少年課

事業主の皆さんへ(労働保険料)

平成16年度の労働保険料の申告・納付手続きは、4月1日~5月20日までをお願いします。

問 和歌山労働局労働保険徴収室 ☎073-422-2175

中小企業の皆さんへ(退職金制度)

中小企業において退職金制度を設けたい場合は、安全・確実・有利な国の「中退共制度」をご利用ください。

問 中退共相談コーナー☎06-6536-1851、県庁労働企画課

交通公園からのお知らせ

4月1日から有料ゴーカートの運行を廃止します

子どもや高齢者向け交通安全教室の受講を希望する方は、交通安全協会☎073-473-1710又は交通安全公園☎073-472-7690まで



健康講座「食と健康」

~かかりつけ医があなたを守る~ 食生活相談(要予約)と講演「生活習慣病」「勘違いによる食生活」「健康長寿への食生活」
時 4月22日(木) 10:00~17:00
場 和歌山ビッグ愛(和歌山市)
問 県庁健康対策課

最新の医療カンファランス(講演)

「脳卒中はどんな病気」
時 5月6日(木) 15:00~17:00
場 県立医科大学 生涯研修・地域医療センター(和歌山市)
定 100人(事前申込不要)
問 会場☎073-441-0789

水質検査受付日の変更

4月から、県立保健所(支所)での水質検査の受付が、毎月第1週と第3週の月曜日(祝日の場合翌日)の9:00~12:00に変わります。
問 各県立保健所(支所)、県庁食品安全企画課

PCB廃棄物の届出

ポリ塩化ビフェニル(PCB)使用製品(昭和47年頃以前に製造されたトランスやコンデンサー等)が廃棄物となった場合、事業者は毎年度6月末までに保管状況を届け出る義務があります。

問 県立保健所、県庁廃棄物対策課

犬の飼い主の皆さんへ

犬を飼ったら必ず登録

年1回、犬に狂犬病予防注射

飼い主の変更や引っ越し、犬の死亡の際は、必ず変更の届出

問 各市町村役場



県税の休日・夜間納税窓口(各振興局)

納税や相談にぜひご利用ください

夜間

4月22日(木) 20:00まで

休日

4月25日(日) 9:00~17:00

問 各振興局税務課(海草は納税課)

自動車税、自動車取得税の改正について

環境負荷の小さい自動車に対する自動車税及び自動車取得税の軽減について、平成16年度からその要件や軽減期間等が改められました。詳しくは、各振興局税務課(海草は自動車税・間税課)へお問い合わせください。

4月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	
5月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月

試験

県警察官A採用
 時 5月8日(土)
 場 県立星林高校(和歌山市)、県立田辺商業高校(田辺市)
 試験区分・採用予定人数
 警察官A男性 = 76人程度
 警察官A女性 = 4人程度
 受験資格 昭和50年4月2日から昭和62年4月1日までに生まれた方で、大学(短期大学を除く)の卒業者又は平成17年3月末日までに卒業見込みの方
 申込書配布 県人事委員会事務局、県パスポートセンター、県警察本部警務課、県内各警察署等
 申 郵送 = 4月2 ~ 16日
 持参 = 4月12 ~ 16日に県人事委員会事務局
 問 申込先 ☎073-441-3763

県立医大病院 助産師・看護師
 勤務場所 医大病院(和歌山市)・紀北分院(かつらぎ町)
 時 4月29日(祝)
 対・定 有資格者20人程度
 申 4月16日までに医大総務課
 問 医大看護部長室 ☎073-447-2300、紀北分院看護部長室 ☎0736-22-0066


県立南紀福祉センター看護師・准看護師
 時 4月25日(日)
 対・定 有資格者2人程度
 申・問 4月20日までに県福祉事業団総務経営課 ☎0739-47-6640

下水道排水設備工事責任技術者
 時 8月1日(日)
 場 和歌山大学(和歌山市)
 申込書配布 5月10 ~ 14日に下水道事業等実施市町村、県庁下水道課、各振興局建設部、(財)和歌山県下水道公社
 申込受付 5月17 ~ 21日
 問 日本下水道協会和歌山県支部(和歌山市役所下水道総務課内) ☎073-435-1093、関係市町村役場、県庁下水道課

危険物取扱者
 種類 甲種、乙種、丙種
 時 5月23日(日) 9:30
 場 和歌山市、田辺市、新宮市
 願書配布 (財)消防試験研究センター和歌山県支部、県庁消防保安課、各振興局地域行政課、各消防本部
 申 4月12 ~ 15日に(財)消防試験研究センター和歌山県支部
 問 申込先 ☎073-425-3369

保育士
 時 8月4日(水)・5日(木)
 場 和歌山信愛女子短期大学(和歌山市)、西牟婁総合庁舎(田辺市) 実技試験は10月16日に同短期大学で実施。幼稚園教諭免許所有者は申請により、筆記の「発達心理学」「教育原理」、実技の「保育実習実技」を免除
 願書配布 5月10 ~ 28日に県庁子育て推進課、各振興局健康福祉部、各市町村役場
 申 郵送 = 5月17 ~ 28日に県庁子育て推進課 持参 = 5月28日に県民文化会館(和歌山市)
 問 県庁子育て推進課

製菓衛生師
 時 6月7日(月) 14:00
 場 県勤労福祉会館(和歌山市)
 願書・従事証明書用紙配布
 県庁生活衛生課、各県立保健所(支所)
 申 4月19 ~ 23日に住所を管轄する県立保健所(支所)(但し、和歌山市又は県外在住の方は県庁生活衛生課) 郵送可
 問 申込先



融資など

母子寡婦福祉修学資金
 対 高校・大学等で修学する母子家庭の児童等
 申込書配布 各振興局健康推進課、各市町村母子福祉担当課
 申 各市町村母子福祉担当課
 問 各振興局健康推進課(和歌山市在住の方は和歌山市役所こども家庭課)

地域・ひと・まちづくり事業
 県内の地域づくり団体等が実施する地域づくり活動を支援
 補助率 対象経費の2分の1以内
 補助限度額 100万円
 申・問 各振興局地域行政課

紀州材健康の家づくり支援
 対 県内に自分が住むために建てる一戸建て専用・併用住宅(建売除く)の新築・増築(10㎡以上)
 条件 住宅の構造材(柱・はり等)・内装材(床・壁等)に紀州材を使い、かつ平成17年2月末日までにその部分が完成すること
 補助金額 紀州材の使用量に応じて、1棟当たり20万円を上限
 申 所定の様式で9月30日までに各振興局林務課、市町村役場
 問 県庁林業振興課、各振興局林務課

修学奨励金
 募集期間 4月14日 ~ 5月31日
【奨学金】
 対 高等学校・高等専門学校に平成14年4月以降第1学年に入学した方
 ・世帯全員の年間収入額が県規則の貸与基準額以下であること
 ・保護者等が県内に住所を有していること
 ・日本学生支援機構(旧日本育英会)等の奨学金の貸与を受けていないこと
貸与額(月額) 国公立 = 自宅通学18,000円、自宅外通学23,000円
 私立 = 自宅通学30,000円、自宅外通学35,000円
返還 無利子、卒業後10年以内
【進学助成金】
 対 平成16年4月に大学・短大に入学又は高等専門学校から大学へ編入学し、自宅以外の場所から通学する方
 ・世帯で最も収入の多い人の年間収入額が県規則の貸与基準額以下であること
 ・保護者等が県内に住所を有していること
 ・日本学生支援機構による一時金の貸与を受けていないこと
貸与額(一時金) 50万円
返還 無利子、卒業後5年以内
 問 県教育委員会生涯学習課

青少年の家

白 家族でリフレッシュ・白崎
 野外炊事、天体観察等
 時 5月2 ~ 4日(2泊3日)
 対 家族 15組 (抽)
 費 1人4,060 ~ 5,900円
 申 4月23日までに会場

潮 家族の連休プラン
 ハイキング、野外炊事等
 時 5月2 ~ 4日(2泊3日)
 対 家族 15組 (抽)
 費 1人4,450 ~ 6,290円
 申 4月17日までに会場

北 ネイチャーライフ IN きほく・春
 農園整地や野菜の苗植え体験等
 時 5月15 ~ 16日(1泊2日)
 対 小学4年 ~ 中学生 40人 (抽)
 費 3,000円
 申 5月1日までに会場

白 白崎ネイチャークラブ・春
 アクセサリーづくり等
 時 5月15 ~ 16日(1泊2日)
 対 小学4年 ~ 中学生 40人 (抽)
 費 3,000円
 申 5月1日までに会場

白 感動体験! ファミリーフィッシング
 キス釣り、カサゴ釣り
 時 5月22 ~ 23日(1泊2日)
 対 小学5年 ~ 中学生とその家族 定 30人(保護者を除く) (抽)
 費 1人4,000 ~ 4,500円
 申 5月13日までに会場


ハガキ・FAXで申し込む場合
 参加者全員の住所、氏名、年齢(学年)、電話番号、保護者名、講座名を記入してください。

申込・問合せ
白 = 紀北青少年の家 〒649-7112 かつらぎ町中飯 降1317-3 ☎0736-22-5530 FAX0736-22-5531
白 = 白崎青少年の家 〒649-1123 由良町大引961-1 ☎0738-65-2351 FAX0738-65-2352
潮 = 潮岬青少年の家 〒649-3502 串本町潮岬669 ☎0735-62-6045 FAX0735-62-0182

自然博物館

4月から高校生以下の入館料が無料!

自然観察会「スケッチブックをもって、春の野山へ出かけよう」
 時 5月9日(日) 10:00 ~ 14:00
 場 丹生都比売神社 集合(かつらぎ町上天野)
 対 小学5年生 ~ 一般 30人(小学生は保護者同伴) (抽)
 費 103円(保険料)
 申 往復ハガキで参加者全員の住所、氏名、年齢(中学生は保護者の記名押印必要)、電話番号を、4月24日までに県立自然博物館「スケッチブック」係 〒642-0001 海南市船尾370-1
 問 申込先 ☎073-483-1777



自然博物館友の会 新年度会員募集
 ●期間内(4月 ~ 翌年3月)は入館無料
 ●会誌「ことのうら」やイベント情報をいち早くお届け
年度会費 ※()内は家族割引料金
 大人 1,800円 (1,300円)
 小・中・高生 700円 (200円)
 申 自然博物館の窓口等で

4月6 ~ 15日 春の全国交通安全運動

- シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 自転車の安全利用の推進
- 交通信号の遵守

問 県庁県民生活課

平成15年度 和歌山県名匠表彰

伝統ある貴重な工芸品又は生活用品の製作等の技能を持ち、地域社会における技術文化の向上発展に功績のあった次の方々を表彰しました(敬称略)。

東 浩美 和歌山市
 建具工(文化財保存修理)
 伝統的工法により、県内の国宝や重要文化財など数多くの建具の補修と製作に携わっている。



久世清吾 海南市
 漆器沈金師
 県内では数少ない漆器沈金師として、技術の研鑽と後進の育成など紀州漆器の普及・発展に尽力している。



きのくに芸術新人賞・きのくに技能奨励賞

芸術文化や技能分野において、将来一層の成果や業績が期待できる次の方々を表彰しました(敬称略)。

きのくに芸術新人賞 橋爪伴之(トランペット奏者) 平野義久(作曲家) 吉田洋紀(日本画家)	きのくに技能奨励賞 中谷 幸(七宝作家) 堀池雅夫(紀州松煙墨)
---	---

問 県庁文化国際課

催し

県立近代美術館 ☎073-436-8690
休館/月曜(祝日の場合翌日)

- コレクション展「2004-春」 4月13日～6月27日
- 国際文化交流写真展 4月24日～5月23日
- ①『日本に向けられたヨーロッパ人の眼/ジャパントゥデイvol.6』
ヨーロッパの写真家が撮った日本
- ②『atw vol.1 永坂嘉光・鈴木理策 一高野 熊野 聖地ー』
本県出身の2人の写真家が高野・熊野のいまを紹介

県立博物館 ☎073-436-8670
休館/月曜(祝日の場合翌日)

- コーナー展「きのくにの工芸」 ～4月18日(日)
- 開館10周年記念特別展
「きのくにの歴史と文化」第1期
徳川頼宣と「御付」の家臣たち
4月24日～5月30日



重要文化財 南蛮胴具足
(紀州東照宮蔵)

紀伊風土記の丘 ☎073-471-6123
休館/月曜(祝日の場合翌日)

4月から高校生以下の資料館入館料が無料に!

- 企画展「古墳時代のくらし」 4月1日～6月20日
- 催し ●4/24(土)13:00～「春の万葉植物園」
- 5/3(祝)～5(祝)「アクセサリ作り・古代人」・「昔のあそび免許皆伝」 ●5/4(祝)13:00～「竹とんぼを作ろう」
- 5/5(祝)13:00～「古代楽器コンサート」
- 5/5(祝)「子どもの日プレゼント」

植物公園緑花センター ☎0736-62-4029
休館/火曜(祝日の場合翌日)

- 写生教室※ 4月24日(土)
 - サボテンと多肉植物の寄せ植え※ 5月9日(日)
 - 展示会 生け花展4/17～19、山野草生け花展4/24～25、
古典植物展4/29、春の原色押し花展4/29～5/23、春の
盆栽展5/7～9、野生ラン展5/8～9
- ※は事前申込必要

動物愛護センター ☎073-489-6500
休館/火曜

- いぬ・ねこの譲渡講習会
4月25日(日)、5月12日(水) 14:00～
※申込不要、講習を受けなければ譲渡できません
- WAW(わう) フェスタ in ゴールデンウィーク
5月1日(土)～5日(水) 10:00～17:00 ※5/4も開館
子犬・うさぎとのふれあい、動物愛護教室、クイズ等

県公館 一般開放 ☎073-441-2214
問 県庁管財課

- 4月25日(日)、5月9日(日) 10:00～16:00
- ※駐車場はありません。バス停「不老橋」下車徒歩1分

コールセンターが相次ぎ開業!

コールセンター業務として、企業に事務用品カタログの送付案内を電話で行うアルファグループ(株)(東京都渋谷区)が、3月から和歌山市内で操業を開始しました。これに先立ち、1月の県誘致企業説明会・面接会では約50人の地元採用が実現しました。県では新たな産業としてこのように大勢の雇用が期待できるコールセンターの積極的な誘致を行っています。同様の企業としてウォーターワン(株)(神奈川県横浜市)も3月下旬に操業を始め、昨年進出のトランスコスモス シー・アール・エム和歌山(株)とあわせ3社で500人近くの雇用が見込まれています。



和歌山市

紀の国ふれあいバス

県の施設などへ
バスで見学に行きます

参加者募集

コース	日程	定員	費用	内容	申込・問合せ先
A [1]	5/18(火)	40人	2,000円	JR和歌山駅(東口)発→転軸山森林公園(西洋シャクナゲ園)→高野町内タウンウォッチング→果樹試験場かき・もも研究所→JR和歌山駅(東口)着	県庁 広報室 ☎073-441-2034 〒640-8585 和歌山市小松原通1-1
A [2]	5/21(金)	40人	1,900円	JR和歌山駅(東口)発→紀の川流域下水道伊都浄化センター→護摩壇山森林公園(シャクナゲ園)→高野山霊宝館→JR和歌山駅(東口)着	同上
B	5/13(木)	40人	1,600円	海南市役所前発→林業試験場→防災航空センター→南紀白浜空港→海南市役所前着	海草振興局県民行政部総務課☎073-441-3352 〒640-8585 和歌山市小松原通1-1
C	5/12(水)	40人	1,600円	那賀総合庁舎前発→関電御坊火力発電所→道成寺→暖地園芸センター→那賀総合庁舎前着	那賀振興局県民行政部総務課☎0736-61-0005 〒649-6234 岩出町高塚209
D	5/13(木)	40人	1,700円	伊都総合庁舎前発→清水町高齢者生産活動センター(うちわ作り体験)→角長しょう油資料館→伊都総合庁舎前着	伊都振興局県民行政部総務課☎0736-33-4900 〒648-8541 橋本市市脇4-5-8
E	5/11(火)	40人	1,900円	有田総合庁舎前発→ほたるの湯(そば打ち体験・昼食)→道成寺→暖地園芸センター→こころの医療センター→有田総合庁舎前着	有田振興局県民行政部総務課☎0737-64-1255 〒643-0004 湯浅町湯浅2355-1
F	5/13(木)	40人	1,100円	①南部町役場前発②日高総合庁舎前発→椿山レイクブリッジ(つり橋)→椿山ダム→リフレッシュエリアみやまの里(ウッドバーニング体験)→②日高総合庁舎前着①南部町役場前着	日高振興局県民行政部総務課☎0738-24-2936 〒644-0011 御坊市湯川町財部651
G	5/12(水)	40人	600円	JR紀伊田辺駅弁慶像前発→丹生都比売神社→慈尊院→丹生官省符神社→JR紀伊田辺駅前着	西牟婁振興局県民行政部総務課☎0739-26-7909 〒646-8580 田辺市朝日ヶ丘2-3-1
H	5/13(木)	40人	700円	東牟婁総合庁舎前発→暖地園芸センター→南部川村うめ振興館→なかへち美術館→東牟婁総合庁舎前着	東牟婁振興局県民行政部総務課☎0735-21-9607 〒647-8551 新宮市緑ヶ丘2-4-8

参加団体募集

実施日 土・日・祝日・年末年始を除く日の9:00～17:00頃
対 20歳以上の県民で構成される団体やグループで、参加人数が45人程度見込めること
※平成15年度に参加した団体は不可

申 所定の申込書(県庁広報室、各振興局で配布。県ホームページにも掲載)を、4月19日までに和歌山市内に所在する団体は県庁広報室、その他の団体は各振興局県民行政部総務課
問 申込先

お気軽にどうぞ

交通事故相談 ☎073-441-2359

- 【常設相談】月～金曜日 場所/県庁交通事故相談所、東牟婁振興局(水曜日を除く ☎0735-22-8551)
- 【弁護士による相談】 電話予約必要 ●県庁交通事故相談所
4月19日(月)、5月10日(月) 受付/13:00～14:00
- 東牟婁振興局4月16日(金)、5月7日(金) 受付/正午まで
- 【巡回相談】 西牟婁振興局5月12日(水) 受付/11:00～15:00

県民相談 ☎073-441-2356

- 【常設相談】月～金曜日 場所/県庁県民相談室
- 【弁護士による相談】 県庁県民相談室 ※先着各20人
- 4月27日(火)<☎予約4/19～> ●5月7日(金)<☎予約4/28～> ●5月18日(火)<☎予約5/10～>
- 【移動相談】 ●5月13日(木) 新宮市・人権教育センター<☎予約4/30～東牟婁振興局0735-21-9605>
- 5月25日(火) 高野町・伏原会館<☎予約5/11～伊都振興局0736-33-4900>
- ※各先着10人(予約開始日に注意)

高齢者相談 ☎073-435-5212

- 【常設相談】月～金曜日
- 【専門相談】※日時はお問い合わせください
- 【弁護士による相談】4月16日(金) ※電話予約必要
場所/県高齢者総合相談センター(和歌山ビッグ愛7階)

ひきこもり相談(新規開設) 月～金曜日

- 場所/各保健所、県精神保健福祉センター(和歌山ビッグ愛2階)
- 問 県庁健康対策課☎073-441-2641

県IT総合センター(仮称)の名称決定!

和歌山県立情報交流センター

様々な情報・人・モノが交流することにより人材育成・産業振興・地域活性化を支援する施設であることと、建物の外観が大きな“U”の文字に見えることから、この名称に決定しました(応募総数3,341件)。“U”からは、優(優れた人材を育成する)、友(情報を使って交友を深める)などの意味も連想されます。

- 所在地 田辺市新庄町
- 入居機関(予定) 情報交流センター、総合教育センター、県立図書館紀南分館、SOHO、和歌山サテライト大学、NPO等
- スケジュール 今年10月竣工予定
- 問 県庁情報政策課



和泉葛城山ふれあいイベント

～きてみてかつらぎ～
ブナ林での自然観察会・清掃活動
時 4月29日(祝) 10:00～14:30
場 和泉葛城山山頂(那賀町)
定 30人(先着順)
申 往復ハガキで住所、氏名、年齢、電話番号を、4月20日までに県庁環境生活総務課自然環境室
問 申込先

紀の国川の日

日高川ふれあいフェスティバル
天音太鼓、カヌー体験教室、アマゴつかみどり等のイベント
時 5月9日(日) 10:00～
場 日高川ふれあい水辺公園
せせらぎ広場(御坊市)
※雨天時は、御坊市立体育館
問 県庁河川課

いこうや・くまの!

緑の探検隊 受入団体
8月27～29日、都市部の子ども達が高野・熊野地域を訪ね、自然体験や就業体験、文化交流等を実施。隊員達を受け入れ、活動の実施に協力いただける民間団体を募集します。
対 高野・熊野地域、又は古くから熊野参詣でにぎわった地域で活動しているNPO等の団体
申・問 4月1日～5月20日に 県庁青少年課

語り部養成講座

熊野古道(中辺路)、高野山町古道を案内する語り部の養成講座(受講日数は、全10日間程度)
対 修了後、各市町村の語り部組織等に属して実際に活動できる方(資格、年齢、性別は不問)
申・問 5月31日までに 県庁観光交流課